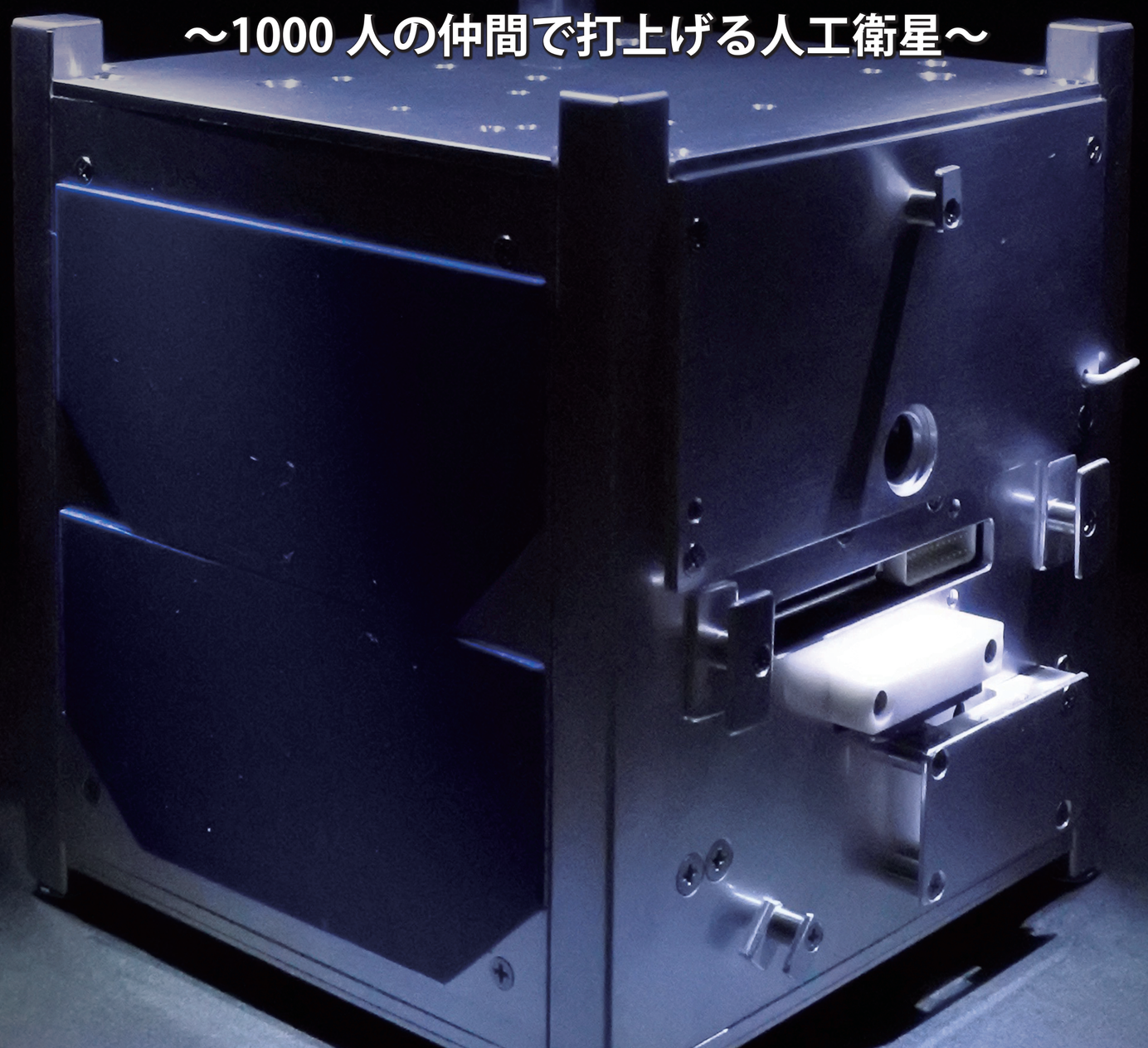
ドリームサテライトプロジェクト

DREAM SATELLITE

～1000 人の仲間で打上げる人工衛星～



アナタも千人衛星のオーナーになりませんか？

宇宙時代の幕が開こうとしている現在、たくさんの人工衛星が地球の周りを回っています。
そして、ここに新しいコンセプトの人工衛星が加わる事になりました。
1000 人の市民が集い宇宙への想いを共有する、人と人とのつながりだけで打上げを目指す初めての人工衛星プロジェクト。
それが「ドリームサテライトプロジェクト」です！
来るべき宇宙時代の扉を「仲間」と一緒に開けてみませんか？　私たちみんなで「夢」を叶えてみませんか？

千人衛星★ドリームサテライトプロジェクト

みんなでお金を出し合って自分たちの人工衛星を打上げたい！

かつて東大阪の町工場の技術を集めて打上げられた「まいど1号」。その総責任者だった菊池の想いからドリームサテライトプロジェクトはスタートしました。

国家プロジェクトや大学などの研究目的、企業のビジネス用途など、限られた組織や団体だけしか人工衛星の打上げに携わることが出来なかった時代を経て、今ここに、私たちは新しい一歩を踏み出そうとしています。

テレビのニュースや新聞の記事の中の出来事でしかなかった人工衛星の打上げが民間の個人の集まりで出来る。専門知識や経験の有無にかかわらず、一人1万円（人工衛星区分保有購入費）でオーナーになることによって、誰でも宇宙に関わる事が出来る。

ドリームサテライトプロジェクトは21世紀の「夢」を見られるところまで育ってきました。

そして、その「夢」を叶えるためにはもっと多くの「仲間」が必要です。宇宙の広がりが無限であるように、夢見る仲間たちとの絆も無限です。

「ドリームサテライトプロジェクト～1000人の仲間で打上げる人工衛星～」という、プロジェクトのタイトルには、現代に生きる私たちが忘れがちな大切なものを込めました。

世界初の市民衛星オーナーとして、私たちと宇宙を目指しませんか。

★DSP Mission★

①超小型衛星の高性能化に向けた高集積回路の実証試験
②超小型衛星のローコスト化を目指した非宇宙用太陽電池の宇宙での技術実証試験
③超小型衛星の電界結合型共振システムを用いた非接触電力送電の技術実証試験
④人工衛星の一般利用推進
・メールボックス機能としての公開
・QSLサービスの提供
・送受信成功地点のマッピング

詳しくはプロジェクトウェブサイト（www.faspia.or.jp）まで。

「人工衛星区分保有権」とはなんですか？

一人1万円を支払って人工衛星のオーナーになる権利です。

一般的に人工衛星を打ち上げる際には、宇宙法の一つである「宇宙物体登録条約」に基づき、打ち上げる宇宙物体を申請しなければなりません。この条約は、宇宙物体の識別を目的としたもので、物体の打ち上げ国に対し登録簿への記載、国際連合事務総長への情報提供を義務づけることになっています。これまでの人工衛星は、宇宙機関や企業、大学など組織がその所有者として登録されてきました。

市民の力で人工衛星を打ち上げる・・・実は今までに前例のないことでした。関係機関との協議の結果、それぞれの市民オーナーが共同で所有する人工衛星が実現可能に！

お支払いただく「一人1万円は「人工衛星区分保有購入費」としてお預かりし、世界で初の試みにご参加いただくことになります。

※外国籍の方は「人工衛星開発支援金」という扱いになります。

★　あ　ゆ　み　★

2017年1月29日 @ナレッジキャピタルで開催の宇宙HACKで、プロジェクトを大大大公開！その後もナレッジキャピタルでイベントをしました！

2012年の飲み会。「人工衛星作りたいね」の一言で、すべてが始まりました。

2017年6月13日 @大阪某所。「超小型衛星の放出に関わる契約」を JAXAと締結しました。これで2018年の打ち上げが現実に！

2013年11月10日にドリームサテライトプロジェクトのキックオフ講演会開催！1000人の人工衛星オーナーを募って、宇宙を目指すことに！

詳しくは Web で！　航空宇宙振興会 夢宙　検　索

プロジェクトの内容や応募方法などをご確認ください。http://faspia.or.jp/

一般社団法人
航空宇宙振興会 夢宙
Fantastical AeroSpace Promotion Incorporated Association